

# 建設通信新聞

## 「見せる化」技術 で地域密着型へ

日測協が実務者  
向けセミナー

日本測量協会(清水英範会長)は7日、実務者向けセミナー「地域に根ざしたUAV計測の活用事例」を、東京会場での対面集合方式とオンライン方式によるリアルタイム配信のハイブリッド方式で開いた。会場となった東京都港区の品川フロントビルには約80人が参加し、写真、約450人がオンライン受講した。

セミナーでは、同協会の瀬戸島政博副会長が今回の趣旨や狙いを説明。「この数年でUAV(無人航空機)が測量

の道具として浸透し、周辺環境の整備も進む中で、われわれの強みを発揮できるフィールドはどこか、真剣に考える時期にある」とした上で、「その答えの一つとして地域空間を対象に考えるべきではないか」と提起した。

特に「UAVを主体とした3次元計測で3D点群データを取得し地形データを作成して終わりではなく、そのデータを活用した調査解析や施設設計、さらには地域防災計画の策定や防災学習など伝える技術、見せる化技術もわれわれのやっつけていくべき範囲であり、地域対応型から地域密着型の事業展開に行き着くことで、さまざまな分野に仕事を広げられる」との考えを示した。

この後、UAV計測技術の最新動向とともに、農業水利施設の日常管理や地域特性に合わせた複合的測量、モニタリングから災害対応まで幅広く、UAVを有用なツールとして地域で活用した事例を、協会認定講師を務める会員企業の担当者らが詳しく説明した。

